

## まえがき

“なんでわたしばかりがこんなつらい目にあわなくてはいけないのか？”と悲観的になったこともあります。しかし、今はとても幸せです。なんで幸せになれたのか？ それは、わたしをとりまく人たちに支えられ、アドバイスをいただき、わたし自身も努力したからです。そんな日々を、この本の中で包み隠さずお伝えしていきたいと思います。

わたしは現在、自宅でベビー・キッズマツサージ教室を営む傍ら、ボランティア活動にも力を入れています。

娘が生まれてから、さまざまな人に子育てのアドバイスをいただき、人としての倫理観も教えていただきました。そのおかげで、今までいかに自分のことばかりで、人のことなど考えていなかったかを知りました。両親に対する感謝も足りず、離婚を経験することになっても自分の非に気づくことはできず、どうして

わたしばかりがこんな思いをしなければいけないのか？”と、人を責め、世の中を責めました。

今の主人と結婚してからも、主人の欠点ばかりが気になりました。主人の転勤で、初めて地元を離れて大阪に来たときには、孤独で、今ある幸せを見ることなく、不足ばかりを思う日々でした。

そして不妊。わたしは神様に“幸せになつてはいけない！”と言われてるようにさえ感じました。不妊治療と仕事の両立は難しく、仕事を辞めて不妊治療に専念しましたが、なかなか子どもを授かることができず、家においても気が滅入るので、ボランティア活動をすることにしたのです。

そこで出会った人たちの温もりが、わたしに“夫婦二人の生活もいいかな”と思わせるようになり、子どもを諦めかけたとき、今の娘を授かりました。

わたしは“この子のためならなんでもする！”と誓いました。

娘を想う気持ちが強かったからか、それから出会った人たちは、娘を幸せへ導く方ばかりでした。その娘を幸せに導くというのが、今まで自分のことばかりを

考えてきたわたしにとっては、苦勞と努力の日々だったのです。

しかし、その苦勞と努力をし続けていると、どんどんわたしの周りが変わっていききました。あきらかに違うのが、娘の言動なのです。周りからも「ちゃんと自分の意見は言うけど、人に合わせることもできるし、努力を惜しまないし、すごい」とほめられるようになり、わたしは「努力してよかった」と、心から思うことができたのです。今は本当に感謝しかありません。

今度はわたしが、自分がしてもらってよかったことを人に伝えていこう、家族にとつて何が大切かを伝えていこうと思い、ベビー・キッズマツサージ教室を開くことにしたのです。

自分を変えることというのは、簡単そうで難しい。でも、人は変われるのです。どんな努力をして変わり、今、心から幸せと感ぜられるようになったかを、これから書いていこうと思います。

これから結婚する人、子育てをしている人、離婚を考えている人、現在悩んで

いる人に、この本を読んで「心が軽くなった」と、少しでも言ってもらえたらとてもうれしいです。